

# しまねインフラツーリズム in IWAMI

島根県 浜田県土整備事務所 維持管理部 ダム管理第二課 こえき まさる  
小浴 優

## 1. はじめに

島根県は、東西に約 230 km と長く、東部の出雲地域、西部の石見地域、また離島の隠岐地域からなっています。

2018 年島根県観光動態調査（図－1）での地域別動向によると、出雲地域が 25,369 千（人地点）に対し、石見地域は 5,596 千（人地点）と観光入込客が少なく、石見地域の観光振興は大きな課題となっています。

一方、全国的に公共土木施設等（公共インフラ）が観光資源として活用されることが、近年広がりを見せている状況であり、石見地域では土木・建築・電気部門等からのアプローチとして、地域の公共インフラを観光資源として発掘し、魅力を発

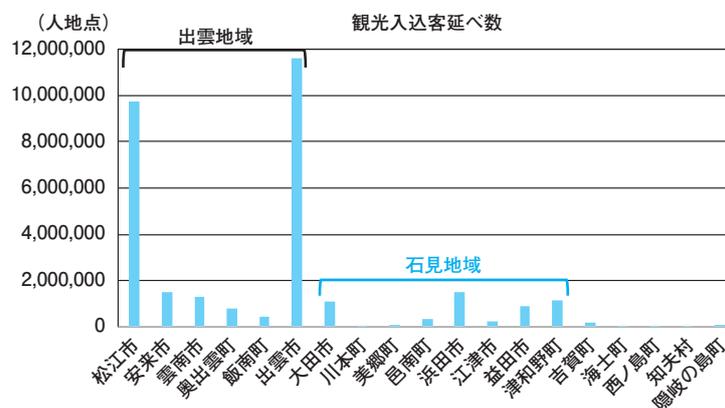
信していくことで、①既存観光地からの誘導、新たな立ち寄りスポットとして、地域の観光振興に寄与し、②学生層にもものづくりの魅力を伝え、将来、建設業等の技術職を志すきっかけとなれば、との思いから取り組んでいます。

本稿では、島根県石見地域におけるインフラツーリズムの取り組みとして、地域に整備されているインフラを紹介するガイドブックの発行、各機関での取り組みや各種ツールを活用した情報発信について紹介します。

## 2. 石見地域におけるインフラツーリズムの取り組み

### (1) 参加機関等

石見地域に所在している国及び県の出先機関を



図－1 島根県観光動態調査

表－1 参加機関等一覧

区分	機関名等
国 (3)	松江国道事務所, 浜田河川国道事務所, 浜田海上保安部
県 (12)	県央県土整備事務所, 県央県土整備事務所大田事業所, 浜田県土整備事務所, 益田県土整備事務所, 益田県土整備事務所津和野土木事業所, 浜田河川総合開発事務所, 浜田港湾振興センター, 浜田水産事務所, 企業局西部事務所, 西部県民センター, 西部農林振興センター, 萩・石見空港利用促進対策室
市町 (9)	大田市, 江津市, 浜田市, 益田市, 川本町, 美郷町, 邑南町, 津和野町, 吉賀町
民間等 (7)	石見観光振興協議会, 山陰道沿線活性化協議会, 西日本旅客鉄道 (株), 中国電力 (株), 日本高速道路 (株), 石見空港ターミナルビル (株), 中国ウィンドパワー (株)
アドバイザー (4)	島根ふるさと親善大使 (遣島使), 島根県立大学, 山陰中央テレビジョン放送 (株), (株) 山陰中央新報社
オブザーバー (3)	土木部土木総務課, 商工労働部観光振興課, 政策企画局広聴広報課

はじめ、石見地域9市町、公益性を有するインフラを所有する民間企業に呼びかけを行ったところ、快く趣旨に賛同いただきました。

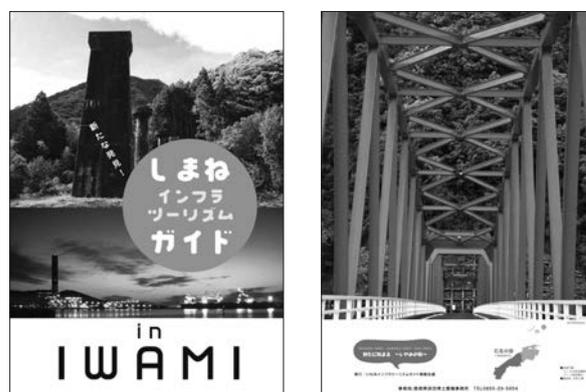
このほか、石見観光振興協議会、山陰道沿線活性化協議会にも協力を仰ぎ、アドバイザーには、島根ふるさと親善大使（遣島使）、フード&トラベルライターの西村愛氏、島根県立大学 総合政策部 豊田知世准教授ほかをお迎えし、助言をいただきました。

参加機関等は38にも及び、インフラにスポットをあてたガイドブックの制作は、官民の機関、分野の枠を越え、土木以外の機関も含んだ関係機関が石見地域の観光振興に向け、一体となって取り組んだ島根県として初めての試みとなりました（表－1）。

ガイドブック制作に向けては、「いわみインフラツーリズムガイド戦略会議」を2回（2019年8月、12月）開催し、第1回会議では主にガイドブックの内容の方向性を確認するため、参加機関等と意見交換を行い、第2回会議ではその時点での構成、内容の共有、今後の情報発信について議論しました。

## (2) ガイドブック『新たな発見！しまねインフラツーリズムガイド in IWAMI』の発行

ガイドブックは、A4判40頁（表紙/裏表紙含む）の仕様とし、取り上げたインフラは、ダム、橋梁をはじめ、発電施設、鉄道、漁港、港湾、灯



図－2 ガイドブック 表紙（左）、裏表紙（右）  
※後出図－3のQRコードからウェブページで電子版を閲覧できます。

台、建築物など多岐にわたり、施設管理者・技術職員ならではの情報を多く盛り込んだマニアックな内容に仕上げました（図－2）。

一方では、誌面にアドバイザーの西村愛氏が石見地域のインフラを巡るコラムも盛り込んだほか、一般の方々が撮影したSNS映えインフラ写真を多数掲載し、読者に親しみやすい頁も設けました。初版40,000部発行し（令和2年3月末）、県内観光施設、道の駅（島根、広島、山口）、高速道路SA/PA、JR山陰本線主要駅等に配布しました。

さらに、インフラツーリズムを通じて、インフラの役割、ものづくりの魅力を学生の皆さんにも伝え、地域を支えるインフラの整備、維持管理に携わる将来の担い手として、技術職を志す動機付けになることを期待し、石見地域の全40の中学校の全校生徒にも配布しました。

(3) 無人航空機（ドローン）を活用したインフラ  
空撮映像の公開（本稿末尾に QR コードを記載）

インフラツーリズムの魅力の一つに、ダムなど  
の見学会のように構造物のスケールの大きさを間  
近で体感していただく点が挙げられます。

ダムや橋梁などを中心に、そのスケール感をよ  
り感じていただくため、普段見ることのできないア  
ングル、全体を見渡す空撮動画をドローンにより  
撮影し、YouTube 島根県公式チャンネル「しまね  
っこ CH」で公開を始めました。令和3年3月1日  
現在、橋梁18件（道路16、公園1、漁港1）、ダム  
10件（治水7、砂防1、発電1、農地防災1）、鉄  
道3件、河川1件の計32件を公開しています。

### 3. 各機関の取り組み事例

(1) はっしータワー（浜田県土整備事務所）

島根県立石見海浜公園内にある斜張橋（片持ち  
式）「はっしータワー」にひと工夫し、ひと味加  
えることで、人を呼び込み観光地へ誘導する試み  
として、高欄部にイルカのプレートを取り付け、  
新たな SNS 映えスポットを作る企画を行いました。  
しまね海洋館アクアスのシロイルカにちなん  
だプレート自体は外注しましたが、取り付け作業  
は職員が直営で行いました（写真-1）。



写真-1 はっしータワー作業の様子

(2) 波積ダム（浜田河川総合開発事務所）

島根県内で唯一、建設中のダム現場を見学でき  
る波積ダムでは、ダムのはたらきについて広く知  
っていただくため、地元の方々だけでなく、観光

客などにも足を運んでもらおうと、様々な形で魅  
力の発信に取り組んでいます。

その中の一つ「波積ダム学習帳」では、園児か  
ら小学生低学年、小学生高学年など、年齢層に応  
じた説明パンフレットを作成し、配布しています。

ほかにも、ダム本体のコンクリート材料となる  
骨材に見学者が思い思いに記念の寄せ書きをする  
「メモリーストーン」（写真-2）や、時々刻々と  
変化する“リアル”ダム現場を背景に見学者自ら  
が被写体となりダムカード風の写真が撮影できる  
「ダムフォト」など、楽しみながら学べ、現地を  
訪れることが記念となるよう工夫を凝らしていま  
す。



写真-2 メモリーストーン

(3) 浜田マリン大橋（浜田水産事務所）

地域の方々に、水産都市浜田のシンボルである  
斜張橋「浜田マリン大橋」（漁港施設）により一  
層の愛着を持っていただくこと、普段は上がること  
のできないタワー頂上部の見学会（募集10名、  
中学生以上の石見地域在住の方に限る）が企画さ  
れました（写真-3）。県 Facebook で参加募集



写真-3 浜田マリン大橋タワー頂上部からの  
眺望を楽しむ見学者

を告知したところ、多くの方々に情報がシェアされ、関心の高さがうかがえました。

#### 4. 様々なツールを活用した情報発信

##### (1) ウェブサイトでの広報

島根県の観光情報を発信するサイト『しまね観光ナビ』（運営者：一般社団法人島根県観光連盟）において、特集ページ「しまねインフラツーリズム in 石見」を公開（令和2年7月1日～）しました（図-3）。

特集ページ内では、石見地域のインフラを巡る4つのモデルコースの紹介（位置情報付き）、ガイドブック「しまねインフラツーリズムガイド in IWAMI」電子版の公開及びドローンを活用したインフラ空撮映像などを紹介し、デジタルを好むユーザーにも配慮した情報発信を展開しました。



図-3 「しまね観光ナビ」トップ画面（画面は令和2年7月15日時点のもの、メイン画像はスライド方式で複数有り）およびQRコード：インフラツーリズム特集

##### (2) テレビ、ラジオでの広報

県広報部署と連携し、県政広報番組『なるほど！吉田くんのしまねゼミ』（テレビ）や『おがっちの「島根学講座！みたいな！』』（ラジオ）を活用し、石見地域のおすすめインフラスポットを

紹介しました。

また、情報番組『ヤッホー！』（TSKさんいん中央テレビ）の特集コーナーで、「旅の新ジャンル！インフラツーリズム」として、リポーターにインフラスポットを巡ってもらい、現地ではできない体験や、インフラの魅力を紹介しました。

##### (3) Facebook, Twitter, YouTubeでの広報

ガイドブックの発行、ウェブページの公開、テレビ等での特集放送など、インフラツーリズム情報をFacebook等で随時発信し、観光部署や国市町等他機関とも連携し、各機関SNSで情報のシェアを行い、情報の拡散に努めました。

また、Facebookでは「インフラストラクチャー、土木工学など」に興味・関心を持つユーザーを対象に、広告配信を実施しました（図-4、表-2）。YouTubeでは、インフラ空撮映像のほか、インフラの現地レポート映像も公開しています。



図-4 配信した広告

表-2 配信計画

配信期間	2020年3月7日（土）8:00 ～3月20日（金）23:59 14日間
対象エリア	東京都、大阪府、中四国9県 在住
ターゲット	20歳以上 男女
詳細ターゲット	【興味・関心】 ダム、橋、インフラストラクチャー、 土木工学、シビルエンジニア

(4) インフラツーリズム PR ポロシャツによる広報

石見地域にあるインフラをイメージしたデザイン（ダム、橋、鉄道、風車）をあしらったポロシャツ（写真-4）を制作，職員有志で着用し，インフラツーリズムのPRを行いました。



写真-4 インフラツーリズム PR ポロシャツ

(5) 広報誌『土木を楽しむ』の発行

浜田県土整備事務所では，遊び場に最適なおすすめスポットや“ほっ”とくつろげる憩いの空間など，「土木施設」を『旬』な情報と共に，親しみやすいキャラクターがわかりやすく解説する広報誌を発行し，管内小学校への配布やホームページへの掲載，Facebookなどで発信しています（図-5）。



図-5 広報誌『土木を楽しむ』

(6) 道の駅でのPR展開

石見地域の全13道の駅において，期間集中のインフラツーリズムPRを展開しました（令和2年12月1～15日）。国土交通省及び市町と連携して，道の駅との調整を行い，展示するPRポスターや地域のインフラ紹介チラシは職員で制作し，展示スペースや展示方法（ボードやPC/ディスプレイによる表示など）は道の駅の実情に合わせたPR方法をとりました（写真-5，6）。



写真-5 道の駅ゆうひパーク浜田でのPR展示状況（ボード）



写真-6 道の駅サンピコごうつでのPR展示状況（PC/ディスプレイ）

5. 取り組みの効果

(1) インフラツーリズムへの反響

ガイドブック配架直後（令和2年4月）は，新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け，PRも控えたため反応が少ない状況でしたが，緊急事態宣言が解除となって以降は，徐々に手に取られるようになり，道の駅や高速道路SA等から追加

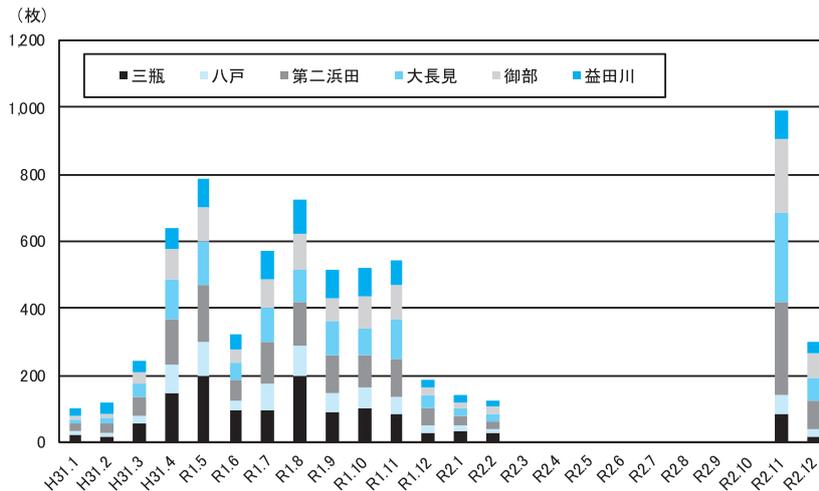


図-6 ダムカード配布推移

配布希望の問い合わせが寄せられました。

また、「インフラ」を巡ってみるとという新しい旅の楽しみ方に触れた一般の方々からは、「このような特集は素晴らしい」、「普段入ることのない裏側を見ることができ、支えてくださる人のお仕事を知ることができ、ワクワクした」、「まだ訪れたことがない橋も紹介されていますので、参考にしながら再訪したいです」など、好感を持たれた意見が多数寄せられ、石見地域への来訪意欲向上につながることでできているのではないかと考えています。

(2) ダムカード配布状況に見るダム来訪者数の推移

ダムを訪れると1人1枚もらうことができる「ダムカード」は、そのダムの諸元や特徴が記載されており、ダム愛好家の間で人気があり、全国各地から来訪があります。石見地域にあるダムのうち、公式ダムカードを配布している6つのダムの配布推移 [平成31年1月1日～令和2年12月20日 (令和2年2月28日～10月30日は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため配布休止)] を見てみると、様々なツールにより、インフラツーリズムの魅力発信を始めて以降、ダムへの来訪者が増加傾向にあります (前年同月比約1.7倍。図-6)。

また、石見地域の空の玄関口、萩・石見空港の利用促進を図るため、交通対策部署と連携し、萩・石見空港利用者を対象にオリジナルダムカー

ドの配布 (土木部及び企業局管理の県内12ダム) も実施しており (平成31年3月～)、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後は、石見地域への来訪者増加の一助となればと期待しています。

6. おわりに

インフラツーリズムの取り組みは、地域に整備されたインフラを広く知ってもらい、その魅力が再発見されることで、現地への来訪を促し、地域活性化へつなげることで、また将来を担う現在の学生の皆さんにインフラ整備に関心を持ってもらい技術職を志す動機付けにつなげることが期待されます。

そのためには、多様化する情報共有ツールを活用し、継続した情報発信が重要であり、また、きちんと情報を届けることを意識した発信の仕方が大切であると考えています。日々の業務の中においても、様々な場面で、「土木」、「インフラ」の魅力を発信することはできますので、引き続きインフラツーリズムの発信に取り組んでいきたいと考えています。



QRコード：ドローンによるインフラ空撮動画  
YouTube 島根県公式チャンネル「しまねっこCH」